

職員による自己評価

① 環境面・体制整備

- ・事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか

どちらともいえない 複数回答

② 業務改善

- ・第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか

*第三者評価はおこなっていない。

③ 適切な支援の提供

- ・支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。

- ・活動プログラムの立案をチームで行っている。

④ 関係機関や保護者との連携

- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会は、直接的な交流はないが、コミュニティハウス等の利用をしている。

⑤ 保護者への説明責任等

- ・保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。
- ・事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営について、コロナ前は夏祭りを行っていたが今は出来ていない。

⑥ 非常時等の対応

- ・ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。

保護者による評価

14名回答

① 環境・体制整備

- ・スペースは十分に確保されている。14名

② 適切な支援の提供

- ・活動プログラム固定化しないよう工夫されているか。はい11名 どちらともいえない3名

- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。

どちらともいえない、いいえ 14名

③ 保護者への説明等

- ・父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。

どちらともいえない、いいえ 14名

- コロナ以前はありました。色々落ち着いたらまた開催してほしい。

④ 非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。

どちらともいえない 3名

⑤ 満足度

- ・子どもは通所を楽しみにしている。

はい13名、どちらともいえない1名

- ・事業所の支援に満足しているか

はい13名、どちらともいえない1名

事業所内での分析

【共通点】

- ・定期的な会報し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している。
- ・保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援をしている。
- ・保護者会を開催する事が出来なかった。

【相違点】

- ・マニュアルの周知が徹底されていなかった。
- ・情報発信について伝えきれていない事があった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・家族との信頼関係が出来ている。
- ・職員間でのチームワークが取れている。

事業所の改善点

- ・事業所でやっている事や整備している事等についてきちんとご家族に周知徹底されていなかった。

事業所の改善への取り組み

- ・コロナの感染対策を引き続き講じながら、来年度は家族会の開催を年間計画として予定していく。その際には、マニュアルやその他情報についてもご家族へ周知して頂けるように、お伝えしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

少しずつ以前の活動の再開を試み始めました。3年前とは違う成長している皆さんを実感する事が出来ました。

様々な制限のある中で私達もその状況があたりまえになり、どこかで前を向こうとする力が弱まっていたかもしれせん。

今回の評価を頂いて初志貫徹、ムーの皆さんの最善の利益に繋がるように、精進して参ります。

事業所名 こどもの家 ムー

担当者 草間 利恵子